

# 図書だよい

平成28年9月15日  
秋田県立視覚支援学校  
図書委員会発行  
No.4

## 心の貯金・・・？

2学期がスタートして3週間、やっと涼しさを感じる頃となりました。今まで暑くて本をじっくり読むどころではなかったという皆さんも、「ちょっと本をめくってみようかな？」という気分がわいてくる頃ではないでしょうか。



さて、19日（月）は敬老の日。今月は、平成22年に98歳の「柴田 トヨ」さんが、初めて出版した詩集「くじけないで」より、2作品を紹介します。

「本を読むこと」も、心の「貯金」につながるように思います。

ことば  
何気なく  
言った ことばが  
人を どれほど  
傷つけていたか  
後になって  
気がつくことがある  
そんな時  
私はいそいで  
その人の  
心のなかを訪ね  
ごめんなさい  
と 言いながら  
消しゴムと  
エンピツで  
ことばを修正してゆく

貯金  
◆ ◆ ◆  
私ね 人から  
やさしさをもらったら  
心に貯金をしておくの  
さびしくなった時は  
それを引き出して  
元気になる  
あなたも 今から  
積んでおきなさい  
年金より  
いいわよ

【柴田 トヨさんについて】 明治44年（1911年）栃木市生まれ。90歳を過ぎで詩作を始め、新聞などに投稿を続ける。平成22年初詩集「くじけないで」が、160万部を超えるベストセラーに。平成23年に第二詩集「百歳」を出版。平成25年、101歳で死去。※「くじけないで」の点字・デジ版(抜粋) 図書室にあります！

## 図書委員会からのお知らせ



### 秋盲祭「図書委員会 壁新聞」をご期待ください！

今年の図書委員会は、秋盲祭に「図書委員会 壁新聞（仮称）」を作り、掲示します。内容は、①図書委員の活動の様子、②今売れている本のランキング、③児童生徒に読んでほしいおすすめの本などです。 どうぞお楽しみに！

# 図書委員によるおすすめの本コーナー

## 今月は、専理1年のHさんです。



### 『13歳の少女が見た沖縄戦』

安田 未知子 著 (WAVE 出版)

この本は、筆者 安田<sup>みちこ</sup>未知子さんが、実際に体験した沖縄戦の真実を書いたものです。

当時は、学校に通う子どもの<sup>かみがた</sup>髪型が学年ごとに違っていました。それは、戦火にあい判別がつかなくなったとしても、何年生かすぐ分かるからです。

このような過酷な戦場<sup>かこく</sup>について多く語られています。また、母親が自分の命<sup>か</sup>を懸けて、子どもを守り抜こうとする親の愛情も語られています。

戦後71年たち、戦争を知らない私たちに<sup>けいしょう</sup>警鐘を鳴らす一冊です。

【安田 未知子さんについて】昭和6年（1931年）東京生まれ、84歳。第二次世界大戦を両親の故郷 沖縄で迎えた。13歳で第一高等女学校に入学するが、軍と校長との伝令（伝達）役として参戦。教育の恐ろしさを知る。43年間の教員生活や退職後も含めて、恵まれない子どもたちや障がいのある人たちを支える活動を行っており、「沖縄のマザーテレサ」と言われている。

現在、スペシャルオリンピックス日本・沖縄会長、介護老人保健施設苑長。

【大きな活字の青い鳥文庫

県立図書館より借りました！】

特別支援学校用の大きな活字の本を23タイトル借りました。期間は、九月から十一月いっぱいです。

「おすすめの本コーナー」にあります。ご利用ください。

#### ★小学校・中学年より

- 読書介助犬オリーブ（今西乃子Ⅱのりこ）
  - シッポをなくしたイルカ（岩貞るみ子）
  - 命をつなげ！ドクターヘリ（岩貞るみ子）
  - ハチ公物語（岩貞るみ子）
  - ゾウのいない動物園（岩貞るみ子）
  - 霧のむこうの不思議な町（柏葉幸子）
  - ごんぎつね（新見南吉）
  - ここは京まち、不思議まち（服部千春）
  - 七時間目の占い入門（藤野恵美）
  - 注文の多い料理店（宮沢賢治）
  - 風の又三郎（宮沢賢治）
  - 銀河鉄道の夜（宮沢賢治）
  - セロひきのゴーシュ（宮沢賢治）
  - 若草物語 1、2 「夢のお城」、3 「ジョーの魔法」
  - 4 「それぞれの赤い糸」（オルコット）
- #### ★小学校高学年より
- あしながおじさん（J・ウェブスター）
  - オズの魔法使い（ライマン・フランク・ボーム）
  - 坊ちゃん（夏目漱石）
  - ステップファーザー・ステップ（宮部みゆき）
  - マサの留守番（宮部みゆき）
  - 賢者の贈り物（O・ヘンリー）